



フルートの魅力

会員 芥川 詩門 (73 期)

私の趣味は、フルートを演奏することであり、20 年近くフルートを演奏してきた。

このような経験から、フルートの魅力について語りたいと思う。

フルートとは、木管楽器に分類される横笛である。木管楽器とされるものの、材質は銀であることが多いが、金や木であることもある。クラリネットやオーボエ等の他の木管楽器に比べると、高い音域を演奏することを得意としている楽器である。

フルートが使用されている有名曲としては、ソフトバンクモバイルのCMで用いられたチャイコフスキー作曲の「くるみ割り人形」より「あし笛の踊り」が挙げられる。YouTube等のサイトで検索をしてみしてほしい。

フルートの魅力といえば、何よりもその音色（おんしょく）である。クラシック音楽に限っても、ビゼー作曲のカルメン間奏曲のような優雅さ、モーツァルト作曲のフルート協奏曲のような華やかさや軽やかさ、ブラームス作曲の交響曲第4番第4楽章のような悲嘆さ等様々な音色を同じ楽器で表現することができる。プロ奏者のような音色で奏するのは、なかなか難しく、何度も音源を聞き込み、どれだけ理想とする音色に近づくことができるのか練習を重ねることになる。このような練習もフルート演奏の醍醐味の一つであり、目標とする曲を演奏できるようになったときの達成感はとても心地が良い。

幅広い音楽ジャンルの曲目を演奏することができる点もまたフルートの魅力である。フルートで演奏される曲目は、モーツァルト、バッハ等のクラシック音楽であることが多いが、ポップスで演奏されることもある。ジャズ、ボサノバ等でも演奏されることもあり、Jポップでも演奏されることがある。さらに、フルートは演奏

者人口が多く、あらゆるフルート奏者のニーズに応えるため、アイドルソング、演歌、ゲーム音楽等のほぼあらゆるジャンルの音楽のフルート用の楽譜が販売されている。また、最近では、YouTube等のサイトにおいても、音源と楽譜が適法に公開されている

ため、どのようなジャンルの音楽であってもフルートで演奏することができ、あらゆるジャンルの音楽ファンであっても演奏を楽しむことができる。



気軽に合奏をすることができるのもフルートの魅力である。合奏には、2人以上の比較的少人数で合奏を行うアンサンブルや、管楽器のみで比較的大人数で合奏を行う吹奏楽、管楽器・弦楽器・打楽器等で合奏を行うオーケストラなどの形態がある。特に、私は15-6年ほどオーケストラに所属し、ベートーヴェン、ブラームス、マーラー等の多種多様な曲目を演奏してきたため、オーケストラにおける合奏の魅力は非常に大きいと考えている。オーケストラは、通常、50-60人程のメンバーと一緒に一つの曲目を演奏することになるが、それぞれのメンバーがどのように表現をしたいのか、どのような音色を目指したいのか等を、曲目を演奏しながら、場合によっては言葉を用いずに、コミュニケーションをしていくことになる。そのようなやりとりを通じて、音楽を組み立てていくのは非常に楽しい。それに何よりも、演奏会本番で一体感や曲目の演奏が終わった瞬間の達成感は物凄いものがある。

このように魅力あふれるフルートの演奏を皆様の趣味の一つとしていただければ幸いである。